
「関節リウマチ患者の骨折発生時期予測に関する研究」に関するお知らせ

このたび、以下の研究を実施いたします。本研究は、病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

研究の概要について

1. 研究の対象となる情報

全国の医療機関での関節リウマチ患者さんの診療データをもとに作成した NinJa (国立病院免疫異常ネットワークが中心となり、国内多施設が参加する関節リウマチ患者データベース) の匿名化された情報を用いています。

2. 研究の目的

関節リウマチ患者さんの診療データ変化から骨折が発生しやすいタイミングを具体的に予測する目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2025 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2023 年 8 月 5 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

NinJa データベースから骨折を発生した患者を抽出します。

2. 試料・情報の取得方法

NinJa より提供された、個人が特定されない情報を用います。

3. 情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科 伊澤直広(研究責任者)

お問い合わせについて

ご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科 大学院生 新井由実

住所：〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1238 (土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名：関節リウマチ患者の ADL が低下していることは近い将来に骨折の発生を予測できる可能性がある

○研究責任者：埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科 講師 伊澤 直広